

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 多治見工業高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和7年5月14日(水) 13:30～15:30
- 3 開催場所 多治見工業高等学校 会議室
- 4 参加者

会 長	坂崎 雄介	多治見青年会議所理事長
副 会 長	奥村 美紀	NPO 法人 Mama's Café 理事
委 員	荻原 明広	明和工業株式会社総務部総務課長
	小倉 徹	前年度育友会長
	藤井 真紀	育友会副会長
	村松 敦子	多治見市養正交流センター館長
	森 巽	地域代表
	山本 和彦	同窓会役員理事 (欠席)

学 校 側	曾貝 隆之	校長
	柴田 純孝	教頭
	相賀 栄寿	事務長
	加藤 龍輔	教務主任
	青木 崇	生徒指導主事
	加藤 嘉憲	進路指導主事
	和田 正行	工業部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 会長、副会長の選出

➡会長に坂崎委員が、副会長に奥村委員が、それぞれ選出された。

(2) 「令和7年度教育指導の重点及び学校経営計画」について

➡「令和7年度教育指導の重点及び学校経営計画」を承認

(3) 「授業参観」「今年度の取組」について

意見1：設備や校舎が古くなっている。勤務先のパソコン更新時に譲渡ができないか検討したい。

意見 2 : 勤務先では入社時に社員へのルール説明を行う。生徒指導部から配布される「新生 ご家庭へのお願い」の案内は良い。

意見 3 : 県外へ就職する生徒が多い。原因についてどのように考えているか。

⇒ 県内の会議で組合の会長等から「岐阜県は給与が低い」と示されるが、企業努力から今年度は給与の上昇があった。昨年度の 3 年生の調査では「やりがい」等、給与面以外で職種を選ぶ傾向が強く現れており、改善の可能性も期待できる。

意見 4 : 今年の 3 年生で就職希望者が昨年度より増えているが理由はわかるか。

⇒ 調査はできていないが、必要であれば理由の確認を進めたい。

意見 5 : 外部機関として、昨年度企画したボランティア活動に、本校の生徒が参加してくれて、その生徒の様子を参観できた。今後も福祉的な部分で学校に協力したい。

意見 6 : 本校生徒は身だしなみがしっかりしている。時代に応じて、生徒から制服を替えた意欲があれば、意見が言える雰囲気や環境をつくってほしい。また、生徒自身が主体的に活動できるよう指導してほしい。

意見 7 : 多工祭は中学生にアピールする良い機会。育友会と学校の連携で多工祭をより良くするとよい。

意見 8 : 郷土愛を育むことが大切。歴史のある学校でセラミック工学科など地元根差している。

意見 9 : 多治見市では外国にルーツを持つ市民が 2,000 人余りと増えてきたが、窯業に専門技術をもって携わる人は少ない。専門高校として本校が担う役割は大きい。

意見 10 : 実習は実際にものに触れられ、本校でしかできないすばらしい授業。多工祭は、授業で学んだことを地域の人に伝える素敵な行事である。

意見 11 : 学んだことが就職先で通用することが必要。基礎基本は大切だが新しく実践的な設備に早く予算がつくとよい。

意見 12 : 交流センターでは様々な年代の方々と交流ができるので今後も活用してほしい。地域の多くの子たちが本校の進学を目指するとよい。

意見 13 : 多治見市の人口が 10 年で 5,000 人減っている。地元就職の対策を考えてもらえるとよい。

意見 14 : 工業部の地域貢献は大変よい。多治見市の活性化につなげてほしい。

6 会議のまとめ

今年度第 1 回の本協議会は、「授業参観」で一生懸命に活動する生徒たちを見ていただいた上で、今年度の本校の在り方についてご協議いただいた。

委員からは、本校の現状や取組についてご理解いただくとともに、様々なご質問やご意見をいただいた。いずれのご意見も本校の取組に一定の評価をいただきつつ、生徒の更なる成長を促すためのご提言であった。今回、ご承認いただいた教育指導の重点や学校経営計画を踏まえて学校運営にあたり、さらなる発展の一年としたい。